

■ 国際医療福祉大学 東京ボイスセンター WORLD VOICE DAY 特別講座 ■

マスクを離せないコロナ禍で見直す声のメカニズム ～その役割と健康～

人間が他の動物と大きく異なるのは、多種多様な音声言語を作り出すことでコミュニケーションを取り、社会を構築するという点にあります。人間がこの音声言語を作り出せるのは、肺からの空気が声帯を通ることで音になり、それを咽頭・口腔・鼻腔までの声道の複雑な動きにより言語化しているのです。本講座は、声帯の基礎的な機能や病気とその治療、声道のうちのひとつである鼻腔の異常で生じる閉鼻声について医師が解説します。また、言語聴覚士が音声障害に対して行う声衛生指導と音声訓練についてお話します。長引くコロナ禍で、声の不調が増えている今、WORLD VOICE DAYをきっかけに声の役割と健康について考えてみませんか。皆様のご参加をお待ちしています。

■ 日時 2022年4月9日(土) 14:00～15:30 (13:30開場)

■ 場所 山王病院 本館3階 山王ホール (完全予約制 参加無料)
Web視聴あり (要申込)

■ 講師



渡邊 雄介 医師

国際医療福祉大学 東京ボイスセンター長

国際医療福祉大学 医学部教授

専門分野：耳鼻咽喉科

(喉頭疾患、音声障害、歌声の治療、音声外科)

神戸大学卒

山形大学医学部臨床教授

東北大学医学部非常勤講師

東京大学医科学研究所附属病院非常勤講師

前国際医療福祉大学三田病院耳鼻咽喉科部長

日本耳鼻咽喉科学会認定指導医・耳鼻咽喉科専門医

日本気管食道科学会認定気管食道科専門医・評議員

日本音声言語医学会評議員

日本喉頭科学会評議員

■プログラム■ (予定)

14:00～ 渡邊センター長 開会挨拶

14:10～ 堀江医師 講義 (20分)

14:30～ 波多野医師 (4月着任) 講義 (20分)

15:50～ 言語聴覚士講義 (20分)

15:10～ 質疑応答



堀江 怜央 医師

専門分野：耳鼻咽喉科

聖マリアンナ医科大学卒

前聖マリアンナ医科大学病院

耳鼻咽喉科任期付助教

元横浜総合病院耳鼻咽喉科任期付助教

元川崎市立多摩病院耳鼻咽喉科任期付助教

◆毎年4月16日は、WORLD VOICE DAY◆

WORLD VOICE DAYは声の大切さをアピールするために組織された世界的なイベントです。毎年4月16日を「国際声の日」と定め、世界中で声に関連する様々な催しが行われています。第1回ワールドボイスデーは2003年に制定されました。のどのがんが非常に多いブラジルで 1999年にナショナルボイスデー (National Voice Day in Brazil) として制定され、世界中に広がったのがはじまりです。

◆国際医療福祉大学東京ボイスセンター◆

2001年に日本で初めて開設した、音声障害や喉頭疾患の診断・治療・リハビリテーションに特化した治療を行える専門施設です。耳鼻咽喉科の中でも喉・声の専門の医師や言語聴覚士が、音声外科手術や音声リハビリテーションなど、専門性の高い治療を行っています。



言語聴覚士による言語訓練

～参加方法～ **感染拡大防止のため、当日会場での聴講とWeb視聴の2つの方法で行います。**

■ 会場聴講：**完全予約制** (定員になり次第締め切ります。当日定員に満たない場合はご入場いただけませんが、感染拡大防止のため、定員を超えた場合は会場にはお入りいただけません。) 以下の事項を記載の上、FAX またはHPのお申込フォームのいずれかでお申込みください。
FAX: 03-3404-3652 (さんのう健康講座事務局宛)

■ Web聴講：HPのお申込フォームからお申込みください。お申込みいただいた方に、会場撮影した映像を後日メールにて配信いたします。 **申込フォームにアクセス⇒**



お名前 (フリガナ)	ご住所	〒
お電話	参加人数	名 ※最大2名まで、かつ同居のご家族とさせていただきます。

住所が別の方は、お手数ですが1名様ずつお申込みくださいますようお願いいたします。